

# 岐阜県飛騨北西部のコウモリ相

山本輝正<sup>1</sup>・梶浦敬一<sup>2</sup>・山崎美恵<sup>3</sup>

## Fauna of chiroptera around the north-west Hida area, Gifu prefecture

Terumasa YAMAMOTO, Keiichi KAJIURA, Mie YAMAZAKI

### はじめに

岐阜県ではこれまでに17種のコウモリ類が確認されている。このうち12種が岐阜県のレッドデータブックの掲載種となっており、その内訳は、絶滅危惧Ⅰ類が4種、絶滅危惧Ⅱ類が2種、準絶滅危惧3種、情報不足3種である(岐阜県健康福祉環境部自然環境森林課,2001)。

昨年に引き続き2008年も岐阜県のレッドデータブック改訂に伴うコウモリ類の現地調査を飛騨市河合町天生および大野郡白川村で実施した。これまで飛騨北西部の本調査地区では、白山周辺での調査しか行われておらず(前田,1987,1989a,1989b,1990,1991; 山本,1994,1995,1998a,1998b,2004)、今回初めて天生峠周辺でのコウモリ相の一部を知ることができたので報告する。

### 調査地

飛騨市河合町と大野郡白川村との境にある天生峠一帯(標高1290m,図1)は、岐阜県立天生自然公園に指定されている。この一帯は、かつてはうっそうとしたブナ林に覆われていたが、伐採によってほとんどが失われた(岐阜県高等学校生物教育研究会,1987)。この峠の南西約700mには、岐阜県の天然記念物になっている天生湿原があり、その奥にブナの原生林が広がっている。

夜間の調査を、天生湿原周辺のブナ林内を流れる沢(図1, 環境省の3次メッシュコード:5436-27-96)と天生峠から国道360号線を1km程白川村側を下った国道横を流れる沢(図1, 同メッシュコード:5436-37-16)で実施した。

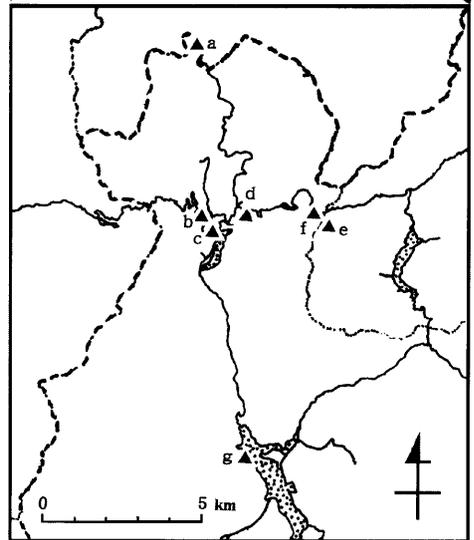
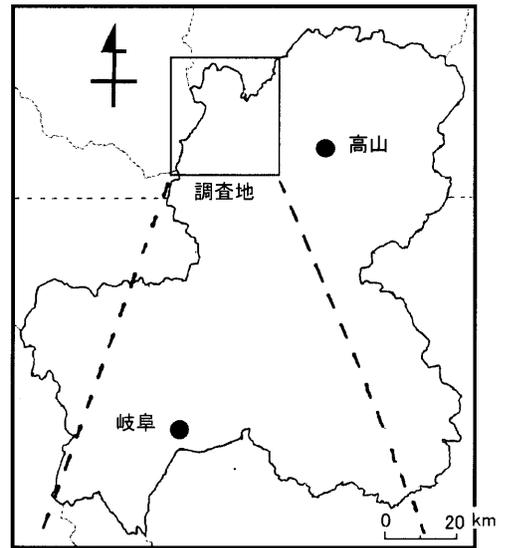


図1 調査地 一: 道路 点線: ダム湖 ▲: 調査地  
 a: 小白川 b: 馬狩 c: 鳩谷 d: 荻町  
 e: 天生湿原 f: 天生峠 g: 福島保木

<sup>1</sup> 岐阜県立土岐紅陵高等学校 <sup>2</sup> ぎふ哺乳動物研究会 <sup>3</sup> 岐阜県地球環境課



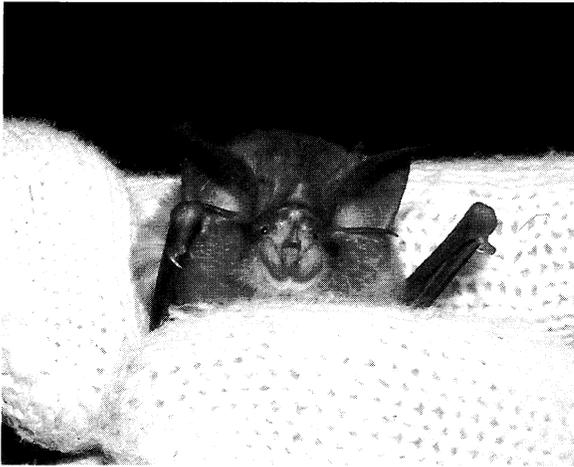


図2 天生湿原周辺で捕獲されたコキクガシラコウモリ



図3 天生湿原周辺で捕獲されたモリアブラコウモリ

を飛行するコウモリ類が少なく(表3)、1種1頭の捕獲であった(表1)。10月11日には、さらに飛翔個体が少なく(表3)、1種1頭の捕獲であった(表1、図2)。

2) 天生峠の国道360号線横 天生峠の国道360号線横を流れる沢(図1)で確認されたコウモリ類は3種、すなわちコテングコウモリ、ヒメホオヒゲコウモリ、キクガシラコウモリ(*Rhinolophus ferrumequinum*) (表1)であった。

7月23日の1夜のみ調査であったが、2種5頭が捕獲された(表1)。前日の天生湿原周辺のブナ林内での調査と比べると付近を飛行するコウモリ類は、かなり少なく感じられた(表3)。この際に、キクガシラコウモリの音声が数回BDで確認された(表3)。

## 2. 昼間のねぐら調査

1) 白川村小白川のコンクリートトンネル 白川村小白川のコンクリートトンネルで確認されたコウモリ類は、2種、すなわちモモジロコウモリ(*Myotis macrodactylus*) およびキクガシラコウモリであった(表1)。8月24日の調査では、キクガシラコウモリが20頭以上、モモジロコウモリが100頭以上がコンクリートトンネルをねぐらとしていることが確認された。この際捕獲できた2頭のモモジロコウモリのなかに乳頭の発達した雌が1頭いた(表2)。

2) 白川村馬狩のトンネル 白川村馬狩のトンネル(図1)では、2008年10月6日の昼間にトンネル内で交通事故死したノレンコウモリ(*Myotis nattereri*)が回収

された情報(三原ゆかり, 私信)を得た。そこで、同所を10月11日に調査したが、トンネル内で休息するコウモリ類を確認することはできなかった。

3) 白川村鳩谷ダム周辺のコンクリートトンネル 白川村鳩谷ダム周辺のコンクリートトンネル(図1)では、7月23日にトンネル内の入り口から奥に約30m付近の天井にキクガシラコウモリの100頭ほどの群塊を確認した。さらに奥にもコウモリ類が休息しているのが確認できたが、キクガシラコウモリの群塊の一部に子を抱いた個体を確認されたため、ディスタージャンプを避けるためそれ以上の内部への進入と調査を中止した。このため奥にいたコウモリ類の種は不明である。8月23日にも前回と同様、トンネル内の入り口から奥へ約30m付近の天井にキクガシラコウモリの150頭ほどの群塊が確認された。このため前回同様、ディスタージャンプを避けるため、それ以上の内部への進入と調査を中止した。このため奥にいたコウモリ類の種は不明である。10月11日には、トンネル内の最深部(約70m程)の天井にユビナガコウモリ(*Miniopterus fuliginosus*)の300頭ほどの群塊が確認された(表1)。このうち捕獲できた3頭のうち、2頭は成雌、1頭は当歳雄であった(表2)。

4) 白川村荻町の導水路 白川村荻町の導水路(図1)では、以前コウモリ類がねぐらとして利用していたという場所を7月23日に白川村教育委員会事務局の下山武久氏と近藤久善氏の案内で調査をした。下部に水の流れている導水路内に入り調査を実施したが、導水路内にコウモリ類を確認することはできなかった(表1)。

表2 捕獲されたコウモリ類の計測値

No	種名	捕獲日	調査地 ※ A	性別	前腕長	下腿長	体重 (g)	繁殖ステージ	性徴および 骨化の状況
					(mm)	(mm)		※	
1	コテングコウモリ	<i>Murina ussuriensis</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	28.9		2.2	成獣	乳頭発達
2	コテングコウモリ	<i>Murina ussuriensis</i>	2008. 7.23 天生峠(f)	♂	28.8		3.7	不明	
3	コテングコウモリ	<i>Murina ussuriensis</i>	2008. 7.23 天生峠(f)	♂	31.7		4.0	不明	
4	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	41.4	21.2	5.3	成獣	乳頭発達
5	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	41.4	22.5	5.2	成獣	乳頭発達
6	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	41.3	20.7	5.2	成獣	乳頭発達
7	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	40.0	21.6	5.5	成獣	乳頭発達
8	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	41.3	23.4	5.7	成獣	乳頭発達
9	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	40.8	21.8	5.5	成獣	乳頭発達
10	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	37.3	20.4	5.2	成獣	乳頭小
11	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	39.5	21.4	5.1	成獣	乳頭発達
12	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♂	34.2	16.4	4.8	不明	
13	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♂	33.7	16.5	4.5	不明	
14	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♂	33.8	16.1	5.2	不明	
15	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	34.4	16.8	4.1	成獣	乳頭小
16	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>	2008. 7.23 天生峠(f)	♂	34.9	15.8	4.6	不明	
17	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>	2008. 7.23 天生峠(f)	♂	36.8	17.1	5.2	不明	
18	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>	2008. 7.23 天生峠(f)	♂	34.0	15.4	4.5	不明	
19	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>	2008. 8.23 天生湿原(e)	♂	34.8	16.1	4.2	不明	
20	モリアブラコウモリ	<i>Pipistrellus endoi</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♂	33.1		4.9	不明	
21	モリアブラコウモリ	<i>Pipistrellus endoi</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♂	32.9		4.8	不明	
22	ウサギコウモリ	<i>Plecotus auritus</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	43.2		5.8	成獣	乳頭発達
23	ウサギコウモリ	<i>Plecotus auritus</i>	2008. 7.22 天生湿原(e)	♀	44.1		6.5	成獣	乳頭発達
24	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>	2008. 8.24 小白川(a)	♀	38.3		5.3	亜成獣	
25	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>	2008. 8.24 小白川(a)	♀	37.5		5.6	成獣	乳頭発達
26	ユビナガコウモリ	<i>Miniopterus fuliginosus</i>	2008.10.11 白川村鳩谷(c)	♀	47.0		14.3	成獣	乳頭有り
27	ユビナガコウモリ	<i>Miniopterus fuliginosus</i>	2008.10.11 白川村鳩谷(c)	♂	46.2		13.6	当歳獣	
28	ユビナガコウモリ	<i>Miniopterus fuliginosus</i>	2008.10.11 白川村鳩谷(c)	♀	45.9		13.8	成獣	乳頭有り
29	コキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus</i>	2008.10.11 天生湿原(e)	♀	42.3		10.1	成獣	乳頭有り

※ 通常指骨の骨化は数ヶ月で完了するので、指骨の骨化が未完了の個体を当歳獣、骨化が完了しており乳頭がある妊娠経験雌を成獣、指骨の骨化は完了しているが乳頭のない雌を亜成獣とした。  
雄については、骨化が完了しており睾丸の肥大化が確認された雄を成獣、骨化は完了しているが睾丸の肥大が確認されない場合は不明とした。

※ A : 調査地は、図1を参照

表3 BDによる調査結果

調査地点	調査地	環境省3次メッシュコード	調査日	周波数				
				可聴音	15kHz~ 25kHz	35kHz~ 50kHz	65kHz~ 70kHz	105kHz 付近
e	天生湿原周辺のブナ林内	5436-27-96	2008. 7.22	-	-	+++	-	-
			2008. 8.23	-	-	++	-	-
			2008.10.11	-	-	+	-	-
f	天生峠の国道360号線横	5436-37-16	2008. 7.23	-	-	++	+	-

※ +++ : ほとんど常にBDで反応があった。  
++ : 5~10分間に1回は反応があった。  
+ : 調査中数回反応があった。  
- : 調査中一度も反応がなかった。

5) 白川村福島保木の旧国道トンネル 白川村福島保木の旧国道トンネル(図1)では、7月23日にキクガシラコウモリが1頭ずつ2カ所でトンネル内をねぐらとして利用しているのが確認された。しかし、8月23日と10月11日の調査では、トンネル内をねぐらとして利用しているコウモリ類を確認することはできなかった(表1)。



図4 ユビナガコウモリ

#### 考察

今回の調査により(表1,表2)、飛騨北西部(飛騨市河合町天生および大野郡白川村)において、9種のコウモリ類を確認し、8種29頭のコウモリ類を捕獲した。

天生湿原周辺のブナ林内では、出産哺育期にコテングコウモリ、カグヤコウモリおよびウサギコウモリで乳頭が大きくなった雌個体が捕獲されたことから(表2)、これら3種はこのブナ林周辺で出産哺育を行っているものと考えられた。なお、7月22日にこの場所で捕獲されたヒメホオヒゲコウモリの雌にも乳頭があったが小さく(表2)授乳中とは考えられなかった。このためヒメホオヒゲコウモリのこの場所での出産哺育は確認できなかった。

天生湿原周辺のブナ林内で確認されたモリアブラコウモリ(図3)については、白山の尾上郷(前田,1991)および野麦峠(山本ほか,2007)に次いで3例目の岐阜県での生息確認となった。

白山周辺での調査では、3種のコウモリ類しか確認されなかった(表1)。しかし、白山の岐阜県側としては初めてのユビナガコウモリ(図4)の生息確認の報告となった(表1)。なお、今回確認された乳頭のある成獣雌と当歳獣雄が、この場所で出産・哺育を行ったのか、別の場所での出産・哺育を行いこの場所に移動してきたのかは確認できなかった。

一方、白川村小白川コンクリートトンネルでは、乳頭の発達したモモジロコウモリが8月24日に確認されたことより、このトンネルまたは周辺で出産哺育を行っているものと考えられた。

さらに、白川村鳩谷ダム周辺のコンクリートトンネルで子を抱くキクガシラコウモリが確認されたことから、この場所で出産哺育を行っていることが確認された。

#### 謝辞

鳥獣捕獲許可の申請に際し、ご助力いただいた金沢大学理学部教授の中村浩二先生、鳥獣捕獲許可証の交付等でお世話をいただいた環境省および岐阜県の関係各位、調査地の案内をしてくださった白川村教育委員会事務局の下山武久氏と近藤久善氏、天生峠での調査にご協力いただいた天生県立自然公園協議会の諸氏に深く感謝申し上げます。

#### 要約

岐阜県飛騨市河合町天生および大野郡白川村でコウモリ類の調査を実施した。この調査で、9種のコウモリ類を確認し、8種29頭のコウモリ類を捕獲した。このうちコテングコウモリ、カグヤコウモリ、ウサギコウモリ、モモジロコウモリおよびキクガシラコウモリが産卵哺育を行っていることが確認された。モリアブラコウモリは、岐阜県で3例目の生息確認となった。

#### 引用文献

- 岐阜県健康福祉環境部自然環境森林課(編) 2001. 岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物, 岐阜県, 岐阜市, 353p.
- 岐阜県高等学校生物教育研究会(編) 1987. ガイドブック 飛騨と美濃の植物, 岐阜県高等学校生物教育研究会, 岐阜市, 320p.
- 前田喜四雄 1987. 岐阜県のコウモリ類1 昭和61年の白山国立公園における調査結果, 岐阜ふるさとと動物通信 (17), 238-240.
- 前田喜四雄 1989a. 岐阜県のコウモリ類9 白山国立公園のコウモリ類(2), 岐阜ふるさとと動物通信 (26), 390.
- 前田喜四雄 1989b. 岐阜県のコウモリ類14 白山国立公園のコウモリ類(3), 岐阜ふるさとと動物通信 (31), 488.
- 前田喜四雄 1990. 岐阜県産翼手類(コウモリ類), 生物教育 35, 7-10.

- 前田喜四雄 1991. 岐阜県下のコウモリ類15 尾上郷国有林(1), 岐阜ふるさとと動物通信 (39), 629.
- 前田喜四雄 1996. 日本産翼手目(コウモリ類)の分類レビューと解説, 哺乳類科学 36 (1), 1-23.
- 前田喜四雄 1997. 日本産翼手目(コウモリ類)の和名再検討, 哺乳類科学 36 (2), 237-256.
- 前田喜四雄 2008. “コウモリ目”阿部 永監修, 日本の哺乳類 [改訂2版], 東海大学出版会, 25-64.
- 山本輝正 1994. 白山石川県側のコウモリ1, 岐阜ふるさとと動物通信 (60), 967.
- 山本輝正 1995. 白山石川県側のコウモリ2, 岐阜ふるさとと動物通信 (62), 996.
- 山本輝正 1998a. 哺乳類 コウモリ目. 環境庁委託平成9年度 生態系多様性地域調査(白山地域)報告書, 142-147.
- 山本輝正 1998b. 白山地域のコウモリ類. 環境庁委託平成9年度 生態系多様性地域調査(白山地域)報告書, 227-235.
- 山本輝正 2004. 岐阜県白川村大窪池周辺のコウモリ相, 生物教育 49, 27-31.
- 山本輝正・梶浦敬一・近藤宗由 2007. 岐阜県野麦峠周辺のコウモリ相, 岐阜県博物館研究報告 29, 45-48.

## 注

三原ゆかり, 私信, 2008年10月